

関東支部の現状と支部内の交流について

関東支部長 水澤 健裕（昭和56年・土木）



関東支部は、他の支部と異なり5つのサブ支部の連合体で、サブ支部が持ち回りで当番部となりその運営を担っています。サブ支部とは、東京EEC（電気、電子系）、関東蘭岳会（化学系、開発、金属、材料系等）、札幌室蘭工学同窓会関東支部（土木系）、創の会東京支部（建築系）、機械系学科関東同窓会（機械系）の5つの同窓会で、それぞれ独立した活動（総会等）を行っています。関東支部としてまとまった総会等は行っておりませんが、役員会等にてサブ支部間の交流を行い、将来的に機会を賜る関東開催の社員総会に備えています。

役員会は、理事（2名）、代議員（3名）、役員（22名）で構成し、年に2度の定例開催、必要に応じて臨時開催することとなっています。今年度は4月と11月に開催し、今後の活動方針等について議論し、その後、懇親会にて交流を図っています。



令和7年11月開催の役員会及び懇親会

今年度は、支部の事業として、令和7年4月12日に、特別講演会「明日の未来を築く若きエンジニア達へ」と題して、室蘭工業大学前学長 空閑先生に講演を行って頂き、会場参加51名、オンライン参加33名、懇親会参加46名と大勢の方に参加頂きました。詳しくは、モ・ルラン69号 事業報告をご覧ください。



空閑前学長による特別講演会

関東支部の取り組みとして、活性化実行委員会（19名）を設置し、関東支部の活性化とサブ支部間の交流・連携を目的とした活動を行っています。前述の空閑前学長による特別講演も、活性化実行委員会を中心となり企画・開催したものです。

その関東支部の活性化の一環でサブ支部間交流を進めており、令和7年10月25日には、東京EECの総会・懇親会、電気電子工学ユニットの武田准教授による講演に、関東支部長として土木卒の小生が参加させて頂きました。他学科の同窓会に初めて出席させて頂き、総会・懇親会の進め方等、参考になることが多々あり、また他学科の方と懐かしい話をさせて頂きました。この場をお借りし東京EECの皆様に感謝申し上げます。

各サブ支部での共通の課題は、若手の同窓会員の減少及び同窓会活動への不参加です。このことは役員会等でよく話題となり、サブ支部間の忌憚のない意見交換は、若手同窓生の参加方策を考える場として貴重なものとなっています。

現在、令和9年の4月の開催を想定し、関東支部内の親睦を深めるイベント等を検討しています。現在はまだ案出しの段階ですが、有意義かつ楽しめる行事となるように各サブ支部の皆様とともに尽力していく所存です。